

103-276

問題文

薬剤師は、処方2について減量を考慮すべきと判断した。その理由として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ペラパミル塩酸塩との併用により、P-糖タンパク質が阻害され、消化管吸収が増大するため。
2. メトホルミン塩酸塩との併用により、尿細管分泌が抑制され、血中からの消失が遅延するため。
3. 腎排泄能力の低下により、血中からの消失が遅延するため。
4. グリメピリドとの併用により、CYP2C9による代謝が低下し、血中からの消失が遅延するため。
5. 肝代謝能力の低下により、血中からの消失が遅延するため。

解答

問276 : 3, 4問277 : 1, 3

解説

問276

エナラプリルは、ACE 阻害剤です。降圧薬です。 メトホルミンとグリメピリドは それぞれ、ビグアニド系、SU薬で 血糖降下薬です。 ペラパミルは Ca 拮抗薬です。 クラス IV 抗不整脈薬です。 ダビガトラン（プラザキサ）は、 腎排泄型の直接トロンビン阻害薬です。 虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 のために用いる薬です。

患者は 少し大きめのおじいさんで、 血圧、体温少し高め、心拍数が不規則で速い 呼吸数、肝機能は正常値範囲内、 腎機能について BUN基準値ギリギリ、Scr、少し高め、Ccr、低い →腎機能の低下が見られる という状況です。

選択肢 1 ですが

処方 1 の主目的は、不整脈改善です。 血圧降下ではありません。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

不整脈でペラパミルが処方されています。 プロプラノロールの処方提案の必要はないと考えられます。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい記述です。

選択肢 5 ですが

PT-INR 値のチェックが必要なのは、ワーファリンです。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問276 の正解は 3,4 です。

問277

検査値から腎機能の低下が見られるため、 処方 2 について減量を考慮すべきです。

また ダビガトランは、 P-gp阻害薬との併用により 吸収が増大することで 効果が増強されることが知られています。

ダビガトランはプロドラックで、 吸収されてから代謝活性化を受けて薬効を示します。そして、プロドラック体は P-gpによってある程度は排出されます。ところがこの排出体であるP-gpが 阻害されていると 排出されることなく プロドラックがどんどん吸収されます。 →どんどん代謝活性化を受けます。 →薬効が増加する という流れです。

以上より、問277の正解は1,3です。